

純白の雪は、子どもたちの何よりの遊び相手

七ヶ浜町総合スポーツ
センター内仮設住宅



坂を思いきって滑りたい君

3月3日は“ひな祭り” 前日の大雪のあとすっかり晴れあがった。七ヶ浜町総合スポーツセンターの仮設住宅では、小学生が降り積もった雪を除雪しながら、雪を1か所に集めて“かまくら”を作っていた。また、仮設住宅の敷地内にあるちょっとした斜面では、親子がそり遊びをしていた。

父親とお兄ちゃんと一緒に来ていたはるかちゃんは、「3歳」と指で年を教えてくれた。降り積もった純白の雪は、子どもたちの何よりの遊び相手だ。

(3月3日午前10時18分頃 七ヶ浜町の仮設住宅内で)



少し怖いけどお父さんがいるから大丈夫



はるかちゃんは3歳と指で教えてくれた



坂総合病院の明かりは地域の灯



仙石線の列車 (下馬駅付近で)



3月2日この日の夜、震災当日を思い起こさせるような雪が降った。下馬駅周辺で何枚かシャッターを切った。